

株式会社ティップネス新百合ヶ丘店の取組

麻生区で暮らす皆様が、そこに価値を感じていただけるように。
区と連携して地域に広げる、健康づくりを支援する取組

取組の概要

- 麻生区と連携し、長寿日本一記念事業として「あさおの保健室」を実施するほか、スポーツイベントや講演会の開催など、地域へも活動を展開している。
- 店舗と同じビルに入っているお店の情報を、地域情報として会員等向けに発信している。



ピククルボール体験会の様子「試合終了！」

解決したい課題

- 麻生区周辺で暮らす方々や働く方々の健康づくりの役に立ちたい。

実現したい未来

- 麻生区で暮らす皆様に、私たちの取組を通じて、麻生区で暮らすことに価値を感じていただきたい。

INTERVIEW

1. 社全体の取組と新百合ヶ丘店の活動

株式会社ティップネスでは、OPEN TIPNESSという活動に取り組んでいます。これは、会員登録をしなくてもティップネス発信の健康情報を見たり、健康イベントに参加できたり、ときには施設内で運動ができるなど、地域の皆様に健康を身近に感じるきっかけを提供するもので、「TIPNESSのある街では多くの人に健康になっていただきたい」という想いが根底にあります。私たちも麻生区周辺で暮らす方々、働く方々の健康づくりの役に立ちたいと考え、麻生区が長寿日本一記念事業として実施している「あさおの保健室」を始め、麻生区と連携した取組も進めています。店舗内でイベントを行うところから始まり、今では店舗外にも活動が広がっています。

2. 店舗外に広がる活動

令和7年度の実績をお話ししますと、まずはピククルボールのイベントですね。麻生区が主催、私たちが運営という形で、麻生スポーツセンターで行いました。また、麻生中学校では、保護者の方を対象に講演会を開催し、部活をしている子どもに対する食事やストレッチなどのフォローについてお話をさせていただきました。こうした活動を重ねる中で、麻生区が様々な場とつないでくだ

さっているありがたさを実感しています。麻生スポーツセンターは他の企業が運営している施設ですし、麻生中学校の件も麻生区からのお声掛けがきっかけでしたので、私たちだけでは実現しなかったと思います。普段の店舗活動ではお会いできない方々とも接点を持つこともできました。

3. 地域のお店とのつながり

また、地域向けの情報発信として、先ほど挙げたイベント等の開催報告のほか、店舗と同じビルに入っているお店の紹介をしています。いろいろなお店にお声掛けして、紹介したお店の方からは「会員の方がお買い物に来られましたよ。」という話も聞きます。同じビルに入っているお店同士、ちょっと助け合ったり、できることがあると思っています。これはそのうちの一つですね。

4. 実現したい未来像

麻生区で暮らす皆様に、この街で暮らすことに価値を感じていただけたらいいなと思っています。私たちのお店が地域に根差し、OPEN TIPNESSの活動を通じて健康づくりを支援する。その結果、皆様がこの街に満足して、ティップネスにも価値を感じていただける。そのような地域貢献ができるお店でありたいと思っていますし、そうなれるよう気持ちを込めて日々活動していきたいです。

話し手【取材日：令和8年1月19日】

●池田 利明 さん（株式会社ティップネス新百合ヶ丘店 支配人）